

# 主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	17074	情報教育推進事業(小学校)	課名	学校教育課 教育研究G
	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実	財務	01:一般会計
	基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長	科目	10:教育費
	施策の方向	03:子どもたちの育ちのための学びの展開	目	02:小学校費
	戦略プロジェクト	-	目	02:教育振興費
事業予定期間	H 19 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等 学校教育の情報化の推進に関する法律・第3期教育振興基本計画		

目的・概要	対象	小学校の児童及び教員
	目的	子ども達の確かな学力を育成するため、ICTを活用することで学習への意欲・関心を高めたり、わかりやすい授業を実現したりするとともに、子ども達が授業の中心となり、互いに学び合い、高めあう環境を整備する。
概要		情報教育に関連するサーバ等、学校内ネットワークの保守整備を行うとともに、教育の情報化に対応する環境を整備する。また、情報教育を担う教員への研修を行うとともに、情報インストラクターを派遣し、必要な支援を行う。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	情報機器関連 ・パソコン教室関連機器賃貸借 ・職員共有パソコン賃貸借 ・情報機器の保守、管理 ・校内通信ネットワーク整備 活用支援 ・ICT支援員の配置 教員研修等 ・情報教育研修会の開催 ・先進校視察・研究会等への参加	情報機器関連 ・パソコン教室関連機器賃貸借 ・職員共有パソコン賃貸借 ・情報機器の保守、管理 ・校務用PCのメモリ増設 ・校内通信ネットワーク整備(繰越明許) 活用支援 ・ICT支援員の配置 教員研修等 ・情報教育研修会の開催 ・先進校視察・研究会等への参加	情報機器関連 ・パソコン教室関連機器賃貸借 ・職員共有パソコン賃貸借 ・校務用サーバ等関連機器賃貸借 ・情報機器の保守、管理 活用支援 ・ICT支援員の配置 教員研修等 ・情報教育研修会の開催 ・先進校視察・研究会等への参加	
	年度実績	パソコン室パソコンの入替(児童・教員用)(市内小学校に322台) 職員共有パソコン(市内小学校に37台) 情報機器の保守、管理 ICT支援員の派遣 情報教育研修会の開催(年間3回) 先進校視察・研究会・セミナーへの参加(東京1回、大阪1回、京都2回、名古屋1回)			
事業の計画・実績	計画額	事業費	136,500千円	42,800千円	44,600千円
		国庫支出金	53,700千円		
		県支出金			
		地方債	53,700千円		
		その他			
	一般財源	29,100千円	42,800千円	44,600千円	
	予算額	事業費	28,808千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	28,808千円	0千円	0千円	
	決算額	事業費	25,673千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
地方債					
その他					
一般財源	25,673千円	0千円	0千円		
人件費	総人件費	1,770千円	0千円	0千円	
	一般職員	1,570千円	0千円	0千円	
	所要人員	0.20			
	会計年度任用職員等	200千円	0千円	0千円	
総コスト(+)	27,443千円	0千円	0千円		
受益者負担率	0.0%	0.0%	0.0%		

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	タブレットを授業で活用する教員の割合	計画値	90	95	100
		タブレットを活用した授業を行う教員/全教員数	実績値	91		
			単位	%	%	%
	名称	情報活用能力が身についた児童の割合	計画値	95	96	97
		情報収集の手段としてタブレットやパソコンを活用できる児童/全児童数(小学校3,4年生対象)	実績値	97		
			単位	%	%	%
名称	タブレットやパソコンを活用できる児童の割合	計画値	80	85	90	
	必要な情報を得る手段、わかりやすく伝える手段として、タブレット等を活用できる児童数/全児童数(小学校5,6年生対象)	実績値	88			
		単位	%	%	%	

事業の改善	前回評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング教育の実践事例や指導法に関する情報教育研修会を行う。加えて、長期研修員や研究協力員によるプログラミング教育の実践事例の開発や普及を進める。</li> <li>・8月にPC室のPCをwindows10に入れ替える。</li> </ul>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング教育の実践事例や指導法に関する情報教育研修会を行った。</li> <li>・長期研修員や研究協力員がプログラミング教育の実践事例を研究し、指導計画を作成し周知した。</li> <li>・8月にPC室のPCをwindows10に入れ替えた。</li> </ul>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン室のパソコンを322台入れ替えた。職員共有パソコンを37台導入した。</li> <li>・ICT支援員を定期的に各校に派遣し、ICT関係のトラブルを早急に解決できた。</li> <li>・情報教育研修会を年間3回開催し、ICT機器活用事例や情報モラル教育について研修できた。特に、12月にはプログラミング教育に関する研修会を実施した。また、長期研修員が、市内全小学校を訪問して指導法等の研修会を開催するとともに、8回の研究授業を行った。</li> <li>・先進的な事例や汎用的な事例を知るためにセミナーへ参加した。(東京、大阪、京都、名古屋、各1回)</li> </ul>	A 計画どおり実施できた
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・windows10に入れ替えたことによって、児童がパソコン室でパソコンを使う際や教員が共有のパソコンを使う際に、安全に使うことができるようになった。</li> <li>・教職員に対し、セミナー等で得た先進的な事例や汎用的な事例を情報教育研修会の中で紹介し、タブレット型パソコンの具体的な活用場面をイメージさせることができた。特に小学校においては、プログラミング教育の指導法や事例を紹介できた。</li> <li>・教員の指導力が向上し、情報収集の手段としてタブレットやパソコンを活用できる児童の割合が増加した。</li> </ul>	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の社会に対応できるよう、教員及び児童のタブレットを中心としたICT活用の能力を向上させる必要がある。</li> <li>・タブレット数が各校1クラス分程度であるため、児童に使わせたいときに使えない現状があるため、環境整備を進める必要がある。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを活用した授業を推進するため、ICT活用や指導法に関する情報教育研修会を行う。加えて、長期研修員や研究協力員によるICT活用の実践事例の開発や普及を進める。</li> <li>・GIGAスクール構想の実現に向けた1人1台端末及び1人1台端末の使用に対応したネットワーク整備を進める。</li> </ul>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員や児童のICT活用力が向上することで授業の活性化、さらには確かな学力の向上につながる事が考えられる。</li> </ul>	
対応時期		端末及びネットワーク整備は年度末までに完了する予定である。	

【1次評価者】	教育委員会事務局 学校教育課 教育研究グループリーダー 武居 政敏
【最終評価者】	教育委員会事務局 学校教育課 課長 宇野 勉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A		
	成果	B	B	A		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		28,808 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	133,518 千円
	令和2年度への繰越額	104,710 千円